

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	20 / 1975 / 56-57
タイトル	野内川周辺の甲虫に対しての私見
著者名	沢田博史

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

野内川周辺の甲虫に対する私見

二年 沢田博史

野内川周辺に産する甲虫類は、木村さんが前号でくわしく述べているので、ここでは、その後の追加種、その他の私見を記すだけにとどめる。

ここは、青森市内においては、甲虫にかぎらず環境的に大変めぐまれていると思う。特に、川原などがよく保存されていて、水辺に生そくする甲虫類については、注目すべき場所である。たとえば、ヒラタクロコメツキ、ヒメスナゴミムシダマシ、コニワハンミョウなどである。

また、トラップでは1匹もとれなかったが、私は4月にNo.8で越冬中のコヨウボシゴミムシを2匹採集している。

その他、ミズギワゴミムシのなかまも下流から上流にわたって広く分布していると思われるので後日の調査が期待される。また林床では、市内一帯に産する普通のユクロナガオサムシ、キタマイマイカブリ、マガタマハンミョウが、得られており、上流の周辺には、山地にいるホリアカガネオサムシを産する。それに、上部の方では広葉樹の樹種が豊富であり、各種のカミキリ、コメツキ、ハムシ等が得られている。特にコメツキについては、石沢尹が、意欲的に採集しており、かなりの好結果が得られている。

結論としては、川原の甲虫が豊富であること、水辺の環境は、下部でも、比較的よく保存されていることがあげられる。なお今後の調査については、トラップにえさを入れること。また、ポイントを形式的決めずに、各自、自

由に、自分の経験と、感によって場所をえらぶことを提案する。それに今までのトラップは、ハンミョウ等の採集に際しては、まったく無意味であるので、今後の調査に対しては、改良したものを採用するようお願いしたい。

追加種

ゴミムシ科				
マルクセゴミムシ	4-VIII-1974	lex	カバキ	石沢
キアシヌレチゴミムシ	〃	〃	〃	〃
ハムシ科				
バラルリツウハムシ	24-VI-1973	lex	上折紙	〃
ヨツボシナガツツハムシ	27-V-1973	〃	下折紙	〃
ヤツボシツツハムシ	4-VIII-1974	1♂	カバキ	〃
ウリハムシ	10-VI-1974	lex	?	〃
ヨモキハムシ	〃	〃	〃	〃
コメツキムシ科				
ムナゼ"ロサビ"キコリ	4-VIII-1974	lex	カバキ	〃
オオサセ"キコリ	3-VIII-1973	〃	〃	〃
オオツヤハダコメツキ	4-VII-1973	〃	〃	〃
ミドリヒメコメツキ	24-VI-1973	〃	滝沢	〃
クスアカキマダラコメツキ	4-VIII-1974	1♂	カバキ	〃
ホソコメツキ	24-VI-1973	〃	〃	〃
コガタクシコメツキ	4-VIII-1973	lex	大清水沢	〃
オオナガコメツキ	〃	2ex	〃	〃
コメツキダマシ科				
ナガミゾコメツキダマシ	15-IX-1974	lex	平沢	〃
コガキムシ科				
ヒメサワラコガキ	4-VIII-1974	lex	カバキ	〃
サクラコガキ	〃	〃	〃	〃
ヒメスジコガキ	〃	〃	〃	〃
ドウガキザイグイ	〃	3ex	〃	〃
オオキノコムシ科				
オオキノコムシ	24-VII-1974	lex	下折紙	伴
ホタル科				
ゲンジボタル	15-VII-1974	5ex	滝沢村	

滝沢小学校生徒

以上他 数種と前号に掲載された甲虫類の確認種数は、
計 123種